

船舶事故等調査報告書

平成22年1月28日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009神第302号	
事故等種類	運航不能（舵故障）	
発生日時	平成21年10月1日（木） 15時20分ごろ	
発生場所	兵庫県神戸市 神戸和田岬防波堤灯台から真方位015° 1,800m付近 （概位 北緯34°40.1′ 東経135°11.6′）	
事故等調査の経過	平成21年10月1日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	旅客船 <small>オーシャン プリンセス</small> OCEAN PRINCESS、170トン	
船舶番号、船舶所有者等	131390、神戸ベイクルーズ株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海） 機関長、三級海技士（機関）	
死傷者等	なし	
損傷	操舵油圧ポンプユニットの電磁弁固着	
事故等の経過	<p>本船は、阪神港神戸区の中突堤を発航し、高浜岸壁で旅客13人を乗せ、港内を遊覧中、操舵装置の作動油圧系統にあるポンプユニットの電磁弁が固着し、平成21年10月1日15時20分ごろ、操舵室からの遠隔操舵が出来なくなって運航不能に陥った。</p> <p>本船は、非常用の手動油圧ポンプを操作して機側操舵を試みたものの、油圧ポンプが固着して非常操舵も出来ず、巡視船にえい航されて帰港した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 南、風力 1、視界 良好</p> <p>海象：うねり なし、波高 なし</p>	
その他の事項	<p>非常時の手動機側操舵は、安全管理規程に基づき、3箇月毎に行われる総員訓練時に、防火防水訓練と併せて行われ、事故前には平成21年9月18日に実施されており、正常に操作可能であった。</p> <p>事故後、作動油の新替と「こし器」の掃除を行い、作動油圧系統を清浄し、遠隔及び手動機側操舵とも正常に復帰した。</p> <p>また、本船は、今後、作動油の新替を、入渠に併せて定期的に行うよう定めた。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>なし</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>操舵装置の作動油が汚損劣化し、油中の不純物が電磁弁に付着したことから、電磁弁が固着して操舵室からの遠隔操舵が出来なくなったものと考えられる。</p>
原因	本インシデントは、操舵装置の作動油が汚損劣化し、本船が阪神港内を遊覧中、油中の不純物が付着して電磁弁が固着したため、操舵室からの遠隔操舵が出来なくなったことによって発生したものと考えられる。	

